



治療用医療器具、リハビリ及びモビリティヘルスケア製品(義肢、装具、車いす含む)、外骨格装置

ottobock.

# オットーボック、東京 2020 パラリンピック競技大会のオフィシャルサポーターに決定

2018 年 12 月 3 日

Quality for life

オットーボックはオフィシャルサポーター契約を締結し、治療用医療器具、リハビリ及びモビリティヘルスケア製品(義肢、装具、車いす含む)、外骨格装置のカテゴリースポンサーとなりました。

韓国、ソウルでのパラリンピック競技大会で初めて大会をサポートしてから30年。国際障害者デー2018である本日、オットーボックは東京2020パラリンピック競技大会のオフィシャルサポーター契約を締結いたしました。

オットーボックは東京2020パラリンピック競技大会においても参加する全選手に対して修理サービスを提供します。修理サービスを提供するのは今回で16回目になります。選手が競技で使用する機器だけでなく、日常で使用する機器の修理も提供します。これは選手が参加する競技だけに集中し、最高のパフォーマンスを発揮して欲しいという思いによるものです。各国から参加する経験豊富な義肢装具士、車いす技術者、溶接技術者からなるインターナショナルチームは選手の国籍、使用している機器を問わず全ての選手に無償で修理サービスを提供します。

2020年8月25日から9月6日までの大会期間中に18トンの修理用機械設備と15,000の修理パーツを準備し、100名の経験豊富な技術者が約2,000件の修理サービスを提供する予定です。

「国際障害者デー2018において契約に最適な日はない。」とオットーボックの会長、ハンス ジョージ ネーダー教授は東京 2020 組織委員会との契約書にサインしました。

国際障害者デーは障がいを持った方々が直面している問題の普及啓発、より良い生活をおくるための尊厳や権利の促進を目的にしています。それはオットーボックがパラリンピックとの関わりを通して 30 年間求め続けていることでもあります。

弊社とパラリンピックの関わりは 30 年前のソウル 1988 パラリンピック大会にて、オーストラリア人の 4 名の義肢装具士が選手に修理サービスを提供したことから始まります。その時は小さな

修理ブースで修理を提供しましたが、ネーダー教授はその活動に感銘を受けました。また、パラリンピックで修理サービスが必要とされていること、また修理サービスの専門性が高まっていることを実感しました。現在では「パラリンピックへの情熱」はオットーボックの DNA の一部となっています。

「私たちの取組みは 1988 年のソウル大会から始まり、昨年の平昌大会で 30 周年を迎えました。オットーボックのアジアとの関わりの歴史は長く、地域ならびに人々の成長をサポートしてきました。1999 年には日本に拠点を設け、義肢装具の最新技術や製品を提供しています。東京 2020 パラリンピック競技大会のパートナーに任命されたことは、積み上げてきた取組みの賜であると光栄に思っています。日本、そして世界の人々とパラリンピックへの情熱を共感できることを心待ちにしています。」ともネーダー教授は語っています。

**オットーボックは長い経験に支えられた修理サービスを提供します。**

オットーボックは1999年から日本において動くことに不自由をお持ちの方々をサポートしています。「オットーボック・ジャパンは日本の義肢市場でのトップ企業として、これまで培った専門的知識と技術で東京2020パラリンピック競技大会に貢献したいと思っています。」とオットーボック・ジャパンの代表取締役社長、渡邊佳明は話します。

## 契約概要

契約プログラム： 東京2020スポンサーシッププログラム

東京2020パラリンピック競技大会オフィシャルサポーター

契約カテゴリー： 治療用医療器具、リハビリ及びモビリティヘルスケア製品（義肢、装具、車いす含む）、外骨格装置

契約期間： 契約締結日～2020年12月31日

対象大会および日本選手団： 東京2020パラリンピック競技大会

領域： 日本国内

## 東京 2020 大会修理サービス概要(予定)

- 100 名の修理サービスチーム
- 26 言語での対応が可能
- 18トンの修理サービス用機械設備
- 15,000 個の修理用部品
- 2,000 件の修理サービス

## 日本とパラリンピック競技大会

バドミントンとテコンドーが東京大会から正式競技となります。さらにはアーチェリー、ウィルチェアラグビー、カヌー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすフェンシング、ゴールボール、5人制サッカー、シッティングバレーボール、自転車競技、射撃、柔道、水泳、卓球、トライアスロン、馬術、パワーリフティング、ボート、ボッチャ、陸上競技が開催されます。1964年に東京でパラリンピックが開催されたことで、日本において障がいを持つ人々への認識が広まりました。2020年大会ではパラスポーツに対しての認知や興味が更に高まることと思います。

## 本件に関する問合せ先

Corporate Communications  
Merle Florstedt  
Ottobock SE & Co. KGaA  
Max-Näder-Str. 15, 37115 Duderstadt, Germany  
Phone: +49 (0) 5527 848-1771  
Email: [Merle.Florstedt@ottobock.de](mailto:Merle.Florstedt@ottobock.de)  
Internet: [www.ottobock.com](http://www.ottobock.com)

Lisa Marx  
Ottobock SE & Co. KGaA  
Prenzlauer Allee 242, 10405 Berlin, Germany  
Phone: +49 (030) 398206224  
Email: [Lisa.Marx@ottobock.de](mailto:Lisa.Marx@ottobock.de)  
Internet: [www.ottobock.com](http://www.ottobock.com)

オットーボック・ジャパン(株)  
マーケティングコミュニケーション  
佐竹、樋詰  
〒108-0023  
東京都港区芝浦 4-4-44 横河ビル 8階  
TEL: 03-3798-2113  
Email: [Ottobock@ottobock.co.jp](mailto:Ottobock@ottobock.co.jp)  
Internet: [www.ottobock.co.jp](http://www.ottobock.co.jp)